



# 第160期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



当社ウェブサイトでは、さまざまな企業情報を公開しています。ぜひご覧ください。



事業内容や株主還元方針などの情報をわかりやすく、まとめて紹介。

個人投資家向け <https://www.jp.nikon.com/company/ir/individual/>



持続可能な社会への取り組みを紹介。

サステナビリティ報告書 <https://www.jp.nikon.com/company/sustainability/report/>

株式会社 **ニコン**

証券コード：7731



代表取締役 兼 社長執行役員

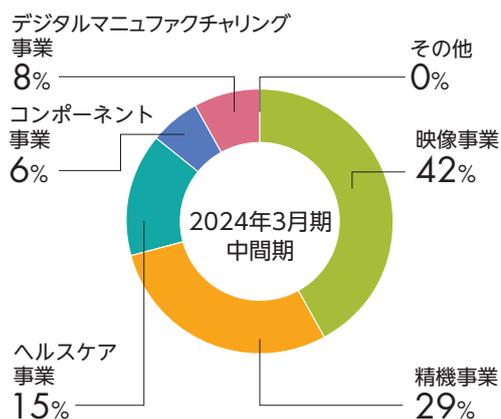
馬立 稔和

投資家情報

<https://www.jp.nikon.com/company/ir/>



■ 事業別売上収益構成比



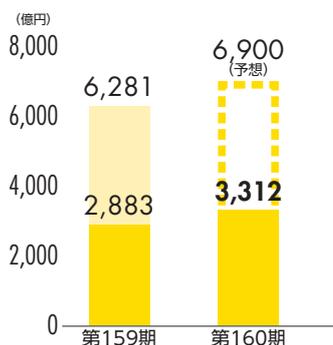
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは、中期経営計画のもと、主要事業の安定収益確保、顧客とのタッチポイントの拡大、高付加価値サービスの提供などを進めました。戦略事業では、市場成長が見込まれる分野での新たな価値創造やM&A、アライアンスにも力を入れ、経営基盤強化のため、人材確保やコーポレート・ガバナンスの強化にも取り組みました。事業強化を目的に、日米欧を含むアディティブマニファクチャリング(以下、「AM」)事業を統括するNikon Advanced Manufacturing, Inc.を米国に設立。米国を基盤に事業拡大を図り、豊かで持続可能な社会を実現することを目指します。

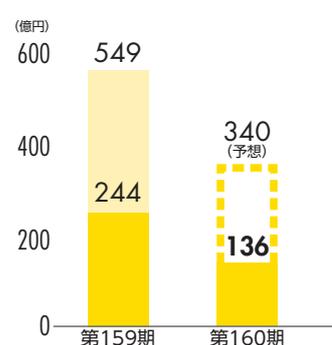
第160期中間期において、映像事業は、デジタルカメラ市場は中高級機の販売好調により、出荷数量が増加しました。精機事業では、FPD関連分野は中小型パネル用、大型パネル用、いずれも設備投資は低調に推移しました。半導体関連分野の設備投資は、ロジック向けの需要は堅調に推移したものの、メモリ向けの需要は低調に推移しました。ヘルスケア事業は、ライフサイエンスソリューション及びアイケアソリューション分野で市況は総じて好調に推移しました。コンポーネント事業では、デジタルソリューションズ事業は光学部品やエンコーダ関連市場で、在庫や投資の調整の影響を受けました。カスタムプロダクツ事業は、EUV関連市場減速の影響を受け、低調に推移しました。デジタルマニファクチャリング事業では、産業機器事業は、半導体、電子部品市場の設備投資は低調に推移しました。また、電気自動車及び車載用バッテリー市場の設備投資は好調に推移しました。アドバンストマニファクチャリング事業では、金属AM市場において、これまでと同様にPowder Bed Fusion装置が中心の中、大型で生産効率の高い装置への移行により、台数は減少の一方単価が増加傾向となりました。その結果、金属AM市場は全体として拡大しました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

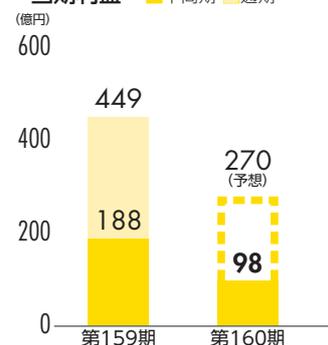
■ 売上収益



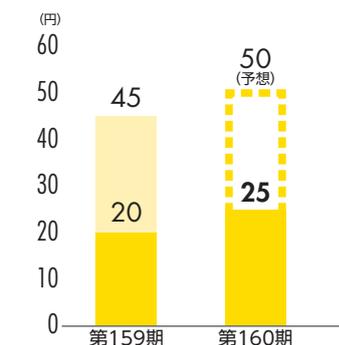
■ 営業利益



■ 親会社の所有者に帰属する当期利益



■ 1株当たり配当金



## Product

## ヘリテージデザインと最新性能を両立した「Z f」を発売

「Z f」は、ニコンの歴史的なカメラ「FM2」にインスパイアされたヘリテージデザインと最新性能を両立した、フルサイズ/FXフォーマットミラーレスカメラです。操作時の感触を重視した真鍮の部材や、触り心地と質感を追求した人工皮革、1970-80年代のNikonロゴをあしらうなど、細部にまでこだわり抜いたデザインを施しています。

フラッグシップモデルの「Z 9」と同じ画像処理エンジン「EXPEED 7」を採用し、高いAF性能や手ブレ補正性能をはじめとした最先端技術を搭載。デザインを重視しながら、自分の表現の幅を広げたいクリエイターのニーズに応えます。



[https://www.nikon-image.com/products/mirrorless/lineup/z\\_f/](https://www.nikon-image.com/products/mirrorless/lineup/z_f/)



ボディの人工皮革部分を有償で張替えることができる「プレミアムエクステリア」を全5色で展開

## Product

## 縮小投影倍率5倍 i線ステッパー「NSR-2205iL1」を発売

パワー半導体、通信用半導体、MEMSなど多様なデバイスに対応し、ニコンの既存のi線露光装置と互換性が高い縮小投影倍率5倍 i線ステッパー「NSR-2205iL1」を2024年夏ごろに発売します。さまざまな半導体の製造プロセスにおいて、歩留まりの水準を維持しつつ、高い生産性を実現します。

ニコンは、旺盛な半導体需要に対し、これまで中古装置のリファービッシュ等で対応してきました。露光装置の老朽化や需給ひっ迫が進む中、縮小投影倍率5倍のi線露光装置の新製品を25年ぶり\*に展開します。各種オプションを拡充し、お客さまの半導体デバイス生産を長期的な視点で支えていきます。

\*「NSR-2205i14E2」の受注を開始した1999年から起算。

[https://www.jp.nikon.com/company/news/2023/0831\\_nsr-2205il1\\_01.html](https://www.jp.nikon.com/company/news/2023/0831_nsr-2205il1_01.html)



縮小投影倍率5倍 i線ステッパー「NSR-2205iL1」

## News

## 国立高専生向け「ニコン奨学金」を新設、授与式を開催

国立高等専門学校生を対象とした「ニコン奨学金」を新設し、2023年度の奨学生として40名が選出されました。

本奨学金は、中期経営計画で掲げた「人と機械が共創する社会」をもとに築く、将来を支える理工学系人材の育成を後押しすることを目的としています。ニコンが独立行政法人国立高等専門学校機構に寄付を行い、同機構が給付型奨学金として本科生1名あたり年間24万円、専攻科生は同36万円を2年間支給します。本年度は、国立高専51校から、23校40名を選出。2024年度以降も毎年40名を選考し、常に年間80名の学生に奨学金を支給する計画です。



[https://www.jp.nikon.com/company/sustainability/report/2023/sr2023\\_23.pdf](https://www.jp.nikon.com/company/sustainability/report/2023/sr2023_23.pdf)



奨学生証書授与式を開催

\*記載されている会社名及び製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。金額は、百万円未満を四捨五入し、億円未満を切り捨てています。

## 株主総会資料の電子提供制度への当社対応について

会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始されました。同制度では、会社からご案内するウェブサイトへアクセスいただき、インターネットを通じて株主総会資料をご覧くださいことを原則としています。

次回、2024年6月開催の当社定時株主総会から、株主総会資料を掲載しているウェブサイトへのアクセス方法を記載した通知書面をお送りする予定としておりましたが、書面交付請求の対象となる株主総会資料を書面で一律にお送りすることとしました。そのため、株主様における書面交付請求は不要です。



なお、株主総会資料の一部は、法令及び定款により認められる範囲において、ウェブサイトのみでの開示とさせていただきます場合がございますので、あらかじめご了承ください。

### 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="https://www.jp.nikon.com/company/ir/bp/">https://www.jp.nikon.com/company/ir/bp/</a>
期末配当金 受領株主確定日	3月31日		株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関
中間配当金 受領株主確定日	9月30日		
定時株主総会	毎年6月		
単元株式の数	100株		

※表紙:半田菜摘氏が撮影([Z 8][Z TELECONVERTER TC-1.4x][NIKKOR Z 180-600mm f/5.6-6.3 VR])



株式会社 **ニコン**

108-6290 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟  
[www.jp.nikon.com](http://www.jp.nikon.com)

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

